

中之島だより

令和6年2月号

和歌山市立中之島小学校



今年度もあと2か月

【校長 太田 謙二〕

ついこの前、新しい年2024年を迎えたと思っていたのに、早くも1か月が経ち、今日から2月になりました。今年はうるう年で、2月は例年より1日多い29日までありますが、3連休も2回あり、あっという間に過ぎそうな気がします。

よく、「1月行く、2月逃げる、3月去る」と言われますが、学校では、1月から3月まで、1年間の大事な締めくくりの時期となり、また、卒業式という大きな行事があるため、特に早く感じるんだと思います。

さて、今年の節分は、2月3日です。元々は、季節の変わり目という意味があります。この季節の変わり目は邪気が入りやすいと考えられ、特に、この時期は、1年の中でも非常に寒い



ため、節分の日に災いや災難をお祓いし、無病息災を願う行事が、豆まきの由来になったと言われています。

今年度も、2月2日(金)に、敬老会(福寿会)の皆さまにご協力いただいて、1年生で「豆まき」の行事を行います。この日は、私も毎年、鬼にならなければいけなくて・・・・。

また、この2月には、今年度最後の参観・懇談会を2月16 日(金)に予定しています。この1年間の子供たちのすばらしい成長をぜひ見ていただけと思います。

これまで気になっていました、南館のトイレの改修がやっと終わり、2月中旬には使用できるようになります。ホテルのトイレと見まがうようなとてもきれいなトイレになっていますので、保護者の皆さまには、参観の折りにご覧いただけたらと思います。

今年度も残りあと2か月。いい形で締めくくり、次年度にいい形でつなげていけるよう、教職員一同協力して、子供たちをしっかりと指導してまいります。 保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞ、ご支援・ご協力をよろしくお願いたします。